

意見・質問票【まとめ】

※各議題、資料についてのご意見・質問等を記入し提出してください。

【資料1】 e. 解決すべき課題、 f. 対策の対象の具体化についてご意見をご記入ください。

※資料1の e. f. の欄に直接記入し提出してください。

データ入力希望の方はMCS添付のExcelファイルをご利用ください。

太枠以外のc.d.に◎のついていないものや具体策の欄については記入不要です。

【資料2-1】 会長、副会長について。昨年度同様に谷口会長、秋葉副会長に引き受けていただいて宜しいでしょうか。

了承・反対（提案）

提案内容：

【資料3、3-1、3-2】 在宅医療・介護連携推進事業計画、研修部会（案）、広報啓発部会（案）について。ご意見、ご質問等ご記入ください。

（小林委員）研修部会について研修会は録画することで後日ネットで閲覧できるようにしてはどうか。

（矢口委員）介護施設・事業所における自然災害発生時のBCPの研修（案内）も検討してはどうか。

（秋葉副会長）研修部会のズームでの研修は、気軽に参加できるので良いと思う。

（榎本委員）内容としてはCOVID-19関連と多職種連携プログラム実施から数年経っているため、多職種連携に関するものもあっても良いかと思えます。

（榎本委員）広報啓発部会について具体的内容ではありませんが、三郷市広報課との連携も必要になってくるのではと感じています。

（秋葉副会長）新型コロナはあるが、以前広報啓発部会で開催したミニ講座が開催できれば良いと思う。

回答・対応

了承（全員） ・ 反対（なし）

→ 全員の了承をいただきました。ありがとうございます。
谷口会長・秋葉副会長引き続きよろしく願いいたします。

→ 研修部会に報告いたします。

→ 広報啓発部会に報告いたします。

【資料4】在宅医療・介護連携サポートセンター報告について。ご意見、ご質問等ご記入ください。
(尾崎委員) MCSが有効に利用されているように感じた。看取りの際に非常に助かったことがあるため、今後も広がってほしいと思う。
(吉寄委員) いつもありがとうございます。
自由記載欄
(尾崎委員) 要介護者の純増に対し、市のケアマネジャーは何人増えているのか。今後増え続ける要介護者を担当できるのか心配。
(尾崎委員) 今後、増加する高齢者を支えるためには制度のほかに支援者の数を増やす必要があり充足数まで増やせなければ効率化のほか、支援者の質をあげなくてはならず、計画が必要だと感じた。
(矢口委員) 学校に介護コーナーを置き、子どもから親に伝わるようにするのもありかもしれない、子どもが興味を持ち、パンフレットなどを持ち帰り、忙しい親がそれを見る機会をつくる、親に代わり子どもが情報を持ち帰る(子どもより親へ、親よりその親へ)など情報を流す経過の見直しはどうか？

→ ありがとうございます。MCSの活用をお願いします。
→ ありがとうございます。
→ 三郷市内の事業所別介護支援員登録者数はR2.4.1時点で167人→R3.7.20時点で161人となり微減となっています。
→ 全国的な人材不足の中、支援者としての介護専門職を増やすことは非常に難しい状況です。市独自の取組みとして互助・共有の取組み(近隣・民生委員・地域に定着した企業などを巻き込んだインフォーマルサービス)を推進しております。 支援者の質に関しては、研修部会にて検討し計画的に研修を充実させてまいります。
→ 昨年度製作した介護の絵本は、市内小中学校に配布しております。また、認知症サポーター養成講座では保育所から高校まで、幅広く子ども達に向けた啓発を行い、子から親へ伝わる取組みを進めております。今後は在宅医療・介護の分野においても効果的な取組み案を委員の皆様よりご提案いただければと考えております。